



令和6年度
昭和村立南小学校

五鈴鏡

令和6年12月12日

No.24

文責（吉野 満由美）



地域の力をかりて

「地域とともにある学校づくり」のよさとは何でしょうか？文部科学省【コミュニティスクール】の資料には「学校と地域の人々（保護者・地域住民等）が目標を共有し、一体となって地域の子どもたちをはぐくんでいくことは、子どもの豊かな育ちを確保するとともに、そこに関わる大人たちの成長も促し、ひいては地域の絆を強め、地域づくりの担い手を育てていくことにもつながります。」とあります。

先日行われた3年生の総合的な学習の時間の「こんにやく作り」には、大勢のボランティアの方々
に協力していただきました。その様子は楽しそうで、できたてのこんにやくを食べる子ども達は幸せ
そうで、素敵な時間が流れていました。地域の方の力を借りることで、学校だけではできない経験・
体験が行えます。その一つ一つが、子ども達の豊かな育ちにつながっていることを大きく実感して
います。また、一緒に活動する地域の皆さんが、「元気をもらった」「初めて知ったことがあって楽し
かった」と笑顔で帰って行く姿を見て、学校は地域をつなぐ大きな役割をなしていると感じます。こ
の先、地域の大人から学んだことを将来生かして、この昭和村に貢献できる人材が育てば、こんな
にうれしいことはありません。地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

3年生総合「こんにやく博士になろう」 12/5

3・4校時は1組、5・6校
時は2組が行いました。6つ
のテーブルには、地域・保

護者のボランティアが各2～3名ずつ入ってお手伝いしてくれました。

できたてのこんにやくを食べる子ども達は、口々に「おいしい！！」「もちもちしてる！」「今までで一番おいしい！」と満面の笑みでした。忙しい中、お手伝いいただきました皆様、本当にありがとうございました。このこんにやくの味は、子ども達にとって忘れられない味になったと思います。



安心・安全な学校づくり～青少年育成推進員の協力を得て～

昭和村では、青少年育成推進員（青少推）の皆様のご協力を得て、子ども達の登下校の安全を見守っていただいています。毎月1回「朝のさわやか声かけ運動」では、子ども達の登校に合わせてあいさつ運動をしています。先日は、大変寒い朝でしたが、皆さん子ども達に負けにくい元気でさわやかなあいさつをしていました。



また、学期に1回集団下校指導を行っています。これは、青少推の皆さんと学校職員が児童の下校に付き添い、危険箇所はないかなど安全面の点検を行うものです。先日（12/9）行われた下校指導にも、たくさんの方にご協力いただきました。

こうして、学校の安全は地域の皆様のご協力の下成り立っていることが分かります。毎日の登下校時にも、地域の皆様に声をかけていただきありがとうございます。これからも、子ども達が安心して生活できるように、ご協力をお願いいたします。



特別な朝礼～中里慎太郎さん 消防団について(12/10)～

12月10日（火）昭和村消防団副団長の中里慎太郎さんに「消防団の役割」を中心にお話をいただきました。「消防士はそれを仕事にしている人たち、消防団は普段それぞれ仕事をしていて、火事の時に消防士と協力する人たちである」「消防団の強みは、地域を知っていること、消防士と消防団が力を合わせることが大切」「自分を守り、自分の大切な人を守るために消防団を続けている」「まずは、学校で友だちを大切にしてほしい」「いつか大人になったとき、この話を思い出してもらえれば・・・」など、たくさんのメッセージを子ども達に届けてくださいました。子ども達も真剣に話に聞き入っていました。

自分達がこの地域で安心して暮らせるのは、様々な立場の人たちが支えてくれていることに気づき、感謝できる子ども達であってほしいと思います。中里さんには、朝の忙しい時間にお越しいただき、ありがとうございました。



子ども達の主体性を育てる～ピア・サポート活動～

【サンタとトナカイがやってきた！
～集会委員会～】



今週は、南小にサンタとトナカイがやってきました。みんな大喜びでした。

【正しいそうじの仕方とは～環境委員会～】



今回は「止めばき」について、実際にやってみると、丁寧にはくたさず、掃除機で吸い取る方がよいとわかりました。環境委員会のみんなが頑張りました。